

1. 太平洋 2. 日本海 3. 東シナ海 4. オホーツク海

1. スポーツ庁 2. 観光庁 3. 消費者庁 4. 文化庁

1. 色丹島 2. 国後島 3. 与那国島 4. 択捉島

1. 標高の高いC地点から徐々に標高が下がり、途中で緩やかな傾斜地を経て、最も標高の低い湖面に達する形状

2. C地点から一度標高が大きく下がるが、湖岸であるD地点に近づくにつれて再び標高が上がり山頂と同じ高さになる形状

3. 標高の高いC地点からさらに標高が上がる地点を経由し、その後、崖のような急斜面となって湖面に達する形状

4. C地点からD地点まで標高の変化がほとんど見られず、全域が平坦な土地として湖面に続く形状

1. 他国の船舶がこの海域を航行することを一切禁止することができる。
2. 領海と全く同じ扱いになるため、他国の活動は一切認められない。
3. この海域の上空を他国の航空機が通過することを全面的に制限できる。
4. 水産資源の確保や海底の鉱物資源の開発を独占的に行うことができる。

1. 日本の領土の最北端は択捉島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

2. 日本の領土の最北端は択捉島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

3. 日本の領土の最北端は国後島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

4. 日本の領土の最北端は国後島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

1. 本初子午線 2. 日本標準時子午線 3. 北回歸線 4. 日付変更線

1. 経済的なつながりが強いので、アフリカの滞在者数はオセアニアよりも多い。
2. 政府関係者の割合が非常に高いので、北アメリカの滞在者数がアジアを上回っている。
3. 総数が最も多い地域はアジアであり、次いで北アメリカの人数が多い。
4. 留学生や民間企業関係者が急増したため、南アメリカの滞在者数が世界で最も多い。

1. 小笠原諸島 2. 竹島 3. 尖閣諸島 4. 北方領土

1. 択捉島 2. 色丹島 3. 歯舞群島 4. 国後島

1. 東京都 2. 北海道 3. 大阪府 4. 鹿児島県

1. 人口規模に応じて自動的に指定されるため、市長の選任方法が他の市とは異なり、内閣が直接任命する仕組みになっている。
2. 中核市と比較して権限が限定されており、道路整備や河川管理に関する決定権はすべて国や都道府県が保持する。
3. 行政運営の効率化のために市の下に「区（行政区）」を設置することが義務付けられており、都道府県から多くの権限が委譲されている。
4. 都道府県から完全に独立した自治体となるため、その都市の住民は都道府県知事選挙の投票権を持たない。

1. 1km²あたり3,000人未満の区分 2. 1km²あたり10,000人以上の区分 3. 1km²あたり3,000人以上5,000人未満の区分 4. 1km²あたり5,000人以上10,000人未満の区分

1. 北海道の北東に位置する国後島や歯舞群島とともに、ロシアによる不法占拠が続いている。
2. 日本と韓国間の水域に位置し、韓国が一方向的に領有権を主張して警備隊を常駐させている。
3. 小笠原諸島に含まれる孤島であり、満潮時に海に沈まないようコンクリートで周囲を保護している。
4. 日本と中国間の東シナ海に位置し、現在は日本が有効に支配しているが領有権をめぐる主張の対立がある。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 東シナ海	九州や南西諸島の西方に位置し、中国などのユーラシア大陸との間に広がる海域です。この海域は大陸棚が発達しており、古くから日本と大陸を結ぶ海上交通や漁業において重要な役割を果たしてきました。
問2	答え 4 文化庁	近畿地方は日本の歴史的な中心地であった時期が長く、京都府や奈良県を中心に多くの文化遺産が集中しています。特に国宝や重要文化財の約半分がこの地域に集まっているという実態があるため、現場に近い場所で「保存・活用」を効果的に進めることを目的に、文化庁の移転が決定されました。これは、地域の特色を活かした行政運営の代表的な事例です。
問3	答え 4 択捉島	日本の領土の最北端は、北海道の北東に位置する北方領土の一つである択捉島です。北方領土には択捉島のほかに、国後島、色丹島、歯舞群島が含まれますが、これらはすべて日本固有の領土です。与那国島は沖縄県に属する日本最西端の島であり、混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 標高の高いC地点から徐々に標高が下がり、途中で緩やかな傾斜地を経て、最も標高の低い湖面に達する形状	地形断面図は、地形図上の等高線から各地点の標高を読み取り、垂直方向の変化をグラフ化したものです。山頂（C地点）から湖岸（D地点）に向かう場合、地形は基本的に下り傾斜となります。等高線の間隔が広がっている部分は傾斜が緩やかであることを示しており、これらを連続的に結ぶことで、山頂から緩斜面を経て湖に至る地形の輪郭が描かれます。
問5	答え 4 水産資源の確保や海底の鉱物資源の開発を独占的に行うことができる。	排他的経済水域は「経済的な利用」に特化した権利が認められる海域です。そのため、漁業（水産資源）や海底資源（鉱物資源）の管理権は持ちますが、領海とは異なり、他国の船舶の航行や航空機の上空通過を自由に制限することはできません。日本はこの水域を確保することで、広大な海域の資源を守っています。
問6	答え 1 日本の領土の最北端は択捉島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。	日本の最北端は北方領土に含まれる択捉島です。また、千島列島に沿って北海道の東方から太平洋側を南下してくる寒流は、親潮（千島海流）と呼ばれます。国後島も北方領土の一部ですが、最北端ではありません。黒潮は低緯度側から北上してくる暖流であるため、方向や性質が異なります。
問7	答え 2 日本標準時子午線	世界の時刻は、イギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線（経度0度）を基準に決められています。日本では1886年の勅令により、兵庫県明石市を通る東経135度の経線を日本の標準時を決定する基準として決めました。これにより、日本国内であればどの地域にいても統一された時刻を用いることが可能になっています。
問8	答え 3 総数が最も多い地域はアジアであり、次いで北アメリカの人数が多い。	2011年の統計において、海外在留邦人の総数はアジアが約31万人で最も多く、次いで北アメリカが多くなっています。これは日本の民間企業の進出や経済的な交流が、地理的に近いアジア地域や主要な経済パートナーである北アメリカで活発であることを反映しています。一方で、アフリカは約7千人と、他の地域に比べて極めて少ない状況にあります。
問9	答え 4 北方領土	択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の4島は「北方領土」と呼ばれ、歴史的にも一度も外国の領土となったことがない日本固有の領土です。これらは現在、ロシアによって法的根拠のない占拠が続けられていますが、島根県に属する竹島や、沖縄県に属する尖閣諸島とは位置や歴史的経緯が異なります。
問10	答え 1 択捉島	択捉島は北方領土の四島の中で最も北に位置し、面積も最大です。日本の主権が及ぶ範囲における最北端の地点はこの択捉島にあります。なお、北海道本島に近い順に、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島と並んでいます。
問11	答え 2 北海道	広大な面積を持つ北海道は、その地理的要因から大規模な農業だけでなく、周囲を取り囲む太平洋、日本海、オホーツク海という3つの海域と豊かな大陸棚を利用した漁業が極めて盛んです。そのため、海面漁獲量においても全国で圧倒的なシェアを占めています。
問12	答え 3 行政運営の効率化のために市の下に「区（行政区）」を設置することが義務付けられており、都道府県から多くの権限が委譲されている。	政令指定都市は、円滑な行政サービスの提供を目的に、市域を分けた「区（行政区）」を設けることが法律で義務付けられています。また、教育委員会や社会福祉、都市計画などの分野において、本来は都道府県が行うべき事務を市が直接行うことができるため、地域の特性に応じた柔軟な都市経営が可能になります。
問13	答え 1 1km2あたり3,000人未満の区分	人口密度の計算式「人口 ÷ 面積」に基づき、217,877 ÷ 95.9 を計算すると、約2,272人/km2となります。この数値は3,000を下回っているため、3,000人未満の区分に分類されます。計算の際に面積を人口で割ってしまうなどの順序の誤りに注意が必要です。
問14	答え 2 日本と韓国間の水域に位置し、韓国が一方的に領有権を主張して警備隊を常駐させている。	竹島は、日本と韓国間の日本海上に位置する島である。日本政府は1954年、1962年、2012年の3回にわたり、この問題を国際司法裁判所に付託することを韓国側に提案したが、韓国側はいずれも拒否している。このように、現在も法的な解決に至っていない「領有権問題」として残されている点が大きな特徴である。